

鳥取市内水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】

1.説明文

①この図は、鳥取市における浸水被害が生じた地域を対象として、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による内水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

②この内水浸水想定区域図は、指定時点の排水施設状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う雨水出水により、内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる想定最大規模降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定していない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際と異なる場合があります。

④このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先河川の水位を想定される最高水位に設定しています。

2.基本事項

①作成主体：鳥取市

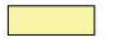
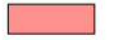

②指定年月日：令和6年3月31日

③指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2

④対象となる地区：東大路地区

⑤指定の前提となる降雨：令和3年7月7日（時間最大雨量130mm、24時間総雨量299.5mm）

⑥境界条件：排水先河川の水位は想定される最高水位に設定し、樋門は常時閉鎖とする。

凡 例	
	0.5m未満の浸水
	0.5m以上3.0m未満の浸水
	3.0m以上5.0m未満の浸水
	5.0m以上10m未満の浸水
	10m以上の浸水